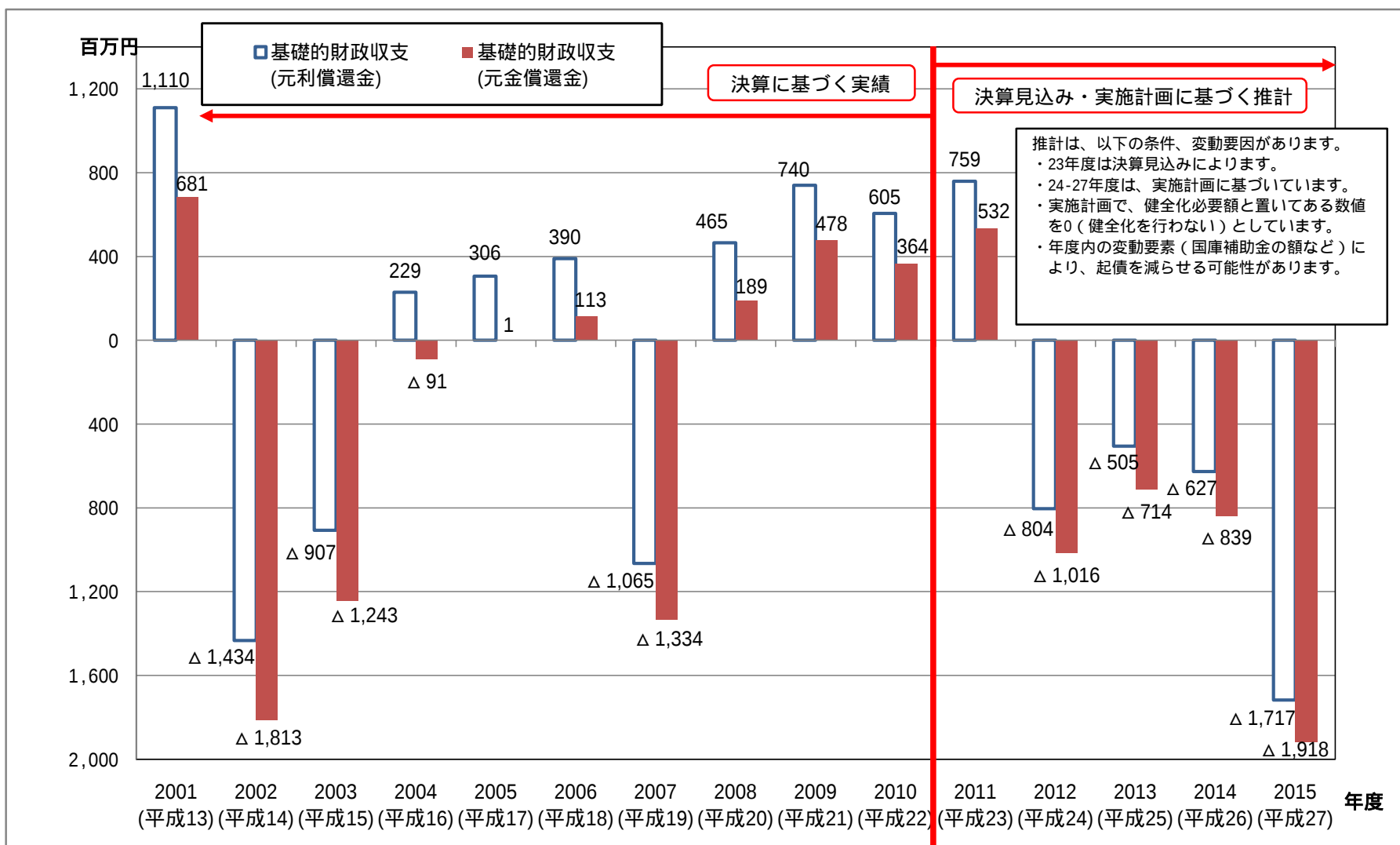


■ 国立市の基礎的財政収支の経年変化（実績と推計）



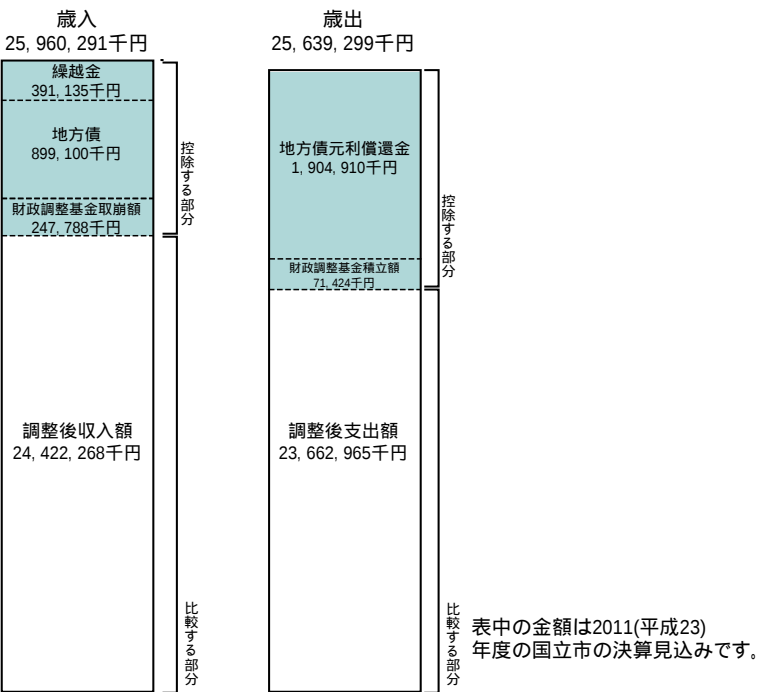
■ 国立市の基礎的財政収支の経年変化 収支額の内訳(決算見込み・実施計画に基づく推計分)

(単位:千円)						
項目	年度 概要	2011 (平成23)	2012 (平成24)	2013 (平成25)	2014 (平成26)	2015 (平成27)
収入総額		25,960,291	26,855,000	25,713,000	26,421,000	28,392,000
繰越金	前年度に余ったお金を繰り越した額。	391,135	320,992	0	0	0
地方債発行額	収入総額に含まれている地方債の額	899,100	1,941,000	1,395,000	1,247,000	1,836,000
財政調整基金等取崩額	収入総額に含まれている貯金を取り崩した額	247,788	362,000	222,000	217,000	434,000
調整後収入額 (A: + + +)		24,422,268	24,231,008	24,096,000	24,957,000	26,122,000
支出総額		25,639,299	26,855,000	26,213,000	27,221,000	29,392,000
地方債償還額						
元利償還金	その年度に元利償還金として支出した額	1,904,910	1,659,986	1,612,000	1,637,000	1,553,000
元金償還金	その年度に元金償還金として支出した額	1,677,663	1,447,151	1,403,000	1,425,000	1,352,000
財政調整基金等積立額	支出総額に含まれている貯金を積み立てた額	71,424	160,496	0	0	0
調整後支出額						
地方債償還額が (元利償還金)の場合 (B: + +)		23,662,965	25,034,518	24,601,000	25,584,000	27,839,000
地方債償還額が (元金償還金)の場合 (B': + '+)		23,890,212	25,247,353	24,810,000	25,796,000	28,040,000
基礎的財政収支						
基礎的財政収支 (元利償還金) (A - B)		759,303	803,510	505,000	627,000	1,717,000
基礎的財政収支 (元金償還金) (A - B')		532,056	1,016,345	714,000	839,000	1,918,000

■ 基礎的財政収支について

一般的に、基礎的財政収支は起債額以外の歳入から公債費以外の歳出を控除して求められます。
国立市は、財務諸表作成基準のひとつである総務省方式改訂モデルで作成しています。基金や繰越金を考慮した数値です。各項目の数値は表のとおりですが、具体的な計算式は以下のとおりとなります。

{歳入 - (地方債 + 繰越金 + 基金取崩額)} - {歳出 - (公債費 + 基金積立額)}



基礎的財政収支の考え方として、財務省理財局『地方公共団体向け財政融資財務状況把握ハンドブック(平成23年6月改訂)』には、「基礎的財政収支が均衡している状態において、金利 = 成長率の場合、債務残高 ÷ GDP(国内総生産)は一定となることから、財政の中長期的な持続可能性を考える上で基礎的財政収支の状況は重要な意味を持つといわれている。ただし、基礎的財政収支が均衡した場合においても、債務残高は利払費分だけ増加するため、債務残高の増加に歯止めをかけるためには、起債収入(財務収入)と元本償還金(財務支出)が均衡している必要があることに留意する必要がある」と記されています。